

1 学力向上検討委員会構成

学 力 向 上 検 討 委 員		
	職名・校務等担当名	氏名
管理職	校長 教頭 教頭	喜馬 久典 名山 泰子 都築 睦美
学力向上推進員	教諭	高橋 陽子
委員	総括部長 小学部長 中学部長 高等部長	米澤 礼子 吉田 恵美 大北由里子 藤本 豊春

2 学力・学習状況における現状分析, 目標等

【3つの視点】

- (1)基礎的・基本的な知識・技能の習得
- (2)知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成
- (3)主体的に学習に取り組む態度の育成

(小 学 部) 幼 児 児 童 生 徒 の 状 況		
よさ	学びに向かう意欲は高く、明るく素直な児童が多い。音楽や体育の楽しさを味わい積極的に参加することができる。先を見通した取組を得意として主体的に活動できる。	課題 学習に継続して取り組むことができにくく、疲れやすく姿勢が崩れたりしやすい。細部に注意を向けることができず課題の完成度が低くなりがちである。先を急ぐ傾向のため振り返りを次の活動に活かしにくい。
具体的目標(目指す子どもの姿)		成果指標
①学習時に姿勢を保持できる時間が延び、学習効率が高まる。書字や作業課題の細部に注意を払うことができ、字形を整えたり正確に課題を完成させたりすることができる。 ②持久走等において、自分で設定した目標や教員が設定した目標に最後まで取り組むことができる。	①設定した課題に取り組んだ結果、8割以上の児童で学習効果の向上が見られる。 ②継続して走ることのできる時間が伸びた児童が対象児童の8割以上となる。	達成状況
具体的方策(教員の取組)		取組指標
①個々の児童の発達課題を設定し、学習や作業の基礎となる身体作りに取り組む。 ②継続して運動する機会を設定し、記録することにより、児童に達成感を味わえるようにする。 * 中間期の見直し	①児童全員について課題設定をして取り組む。 ②個々の児童にあった記録表を作り、フィードバックする。	評価
達成状況を踏まえた改善事項		